

(別紙の2)

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関とホールに理念をかかげ、常に目につくようにしている	3つの項目からなる理念が作成されている。昨年度の外部評価に基づき玄関、リビングに理念を掲示し、来訪者に分かりやすく示している。家族へはケアプランなどを提示する時に理念も同様に伝えている。	ホームの理念を機会ある毎に職員間で確認し、ホームの顔でもある理念を常に意識し利用者や家族に接していただくことを期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の高齢者の集まりにも参加させていたたり、畑の作物の差し入れや、話し相手に来られる方もいる	地区の賛助会員として会費を納めている。昨年は地区の敬老会に利用者全員が招待され参加した。また、年四回、地区で行われる75才以上の高齢者の「鉢伏会」に継続して参加している。地域の方から蕨取りの招待を受け、利用者と職員が楽しんでいる。地域内に職員が住んでいことで情報の収集や発信がタイミングよく行われている。公民館をお借りし蕎麦を打って頂き利用者とお世話になった方を招待したこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域で行われる行事利用者と参加させていたたり交流をもっている また人材育成の貢献として実習生の受け入れを行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ヒヤリハット、事故報告など細かく報告しており、会議出席者の意見もお聞きしてホーム運営にいかしている	家族、民生委員、区長、地域代表、消防団、市職員、包括支援センター職員で構成され二ヶ月に一回開催している。現状報告と予定を報告し委員からの意見を聞き運営に活かしている。運営推進会議では特に地区の関係者にホームを理解していただくようにし、ホームの存在を地域の人々に広めていただくようお願いもしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告など密に連絡し、認定更新時には担当者へ利用者の暮らしぶりなどを伝え連携を深めている	市派遣の介護相談員(1名から2名)の定期的な受け入れをしている。介護認定更新の調査はホームで家族同席の上、職員から情報を伝えている。入居者の受け入れなどについても市担当部署から情報を頂いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はなるべくしないように心がけている	基本的に夜間のみ施錠をしている。利用者の状況に応じ短時間鍵をかけることもあるが、最小限に抑えている。ベッドからの転倒対策としてベッド脇に長座布団を敷かれていた。来年度地区で作成している「ささえあいマップ」に入れてもらえるように働きかけていきたいとの意向がある。	

グループホームきんもくせい

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待は考えているが、心理的な虐待までは注意を払うことはできていない		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ケアマネは研修には参加しているが職員全員は出来てない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をとって説明している。今回の改定時もしっかりと説明している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン報告・モニタリング等お話の場で、御家族の意見をお聞きし、おれば、ユニット会議で皆に報告している	利用者は全員、言葉での意思表示が出来、開設以来の入居者が殆どでもあることから職員との意思疎通は出来ている。家族の訪問は様々であるが、来訪時には声掛けし、要望などを遠慮なく話していただける関係作りに努めている。ケアプラン説明時にも同様に行っている。利用者のホームでのスナップ写真を定期的に家族へ送り、家では見られなかった明るく楽しそうな表情を見ていただけ家族からは喜ばれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を月一回行い、意見を聞くようにしている	夜勤者を除き全員参加を原則とし定例会を開いている。福祉の仕事に携わり経験の長い方やホームで働きながら資格を取得した方等、様々な職員で構成されている。一日に4回の申し送りの機会があり、意見や要望を出している。それぞれ職員は業務日報を確認し業務に就いている。	定例会やカンファレンスを利用し、理念を共有しながらお互いの意見を交換することが利用者へのより一層のサービス向上につながるものと思われる。開設以来の利用者と職員の馴染みの関係を更に深めていただくことを望みたい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	気分転換できる休憩室を確保したり職員同士の人間確保把握するよう務めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は職員の人数が少ないので、なかなか受講できてない。今年こそは、計画を建て実行していきたい		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協力していただいている他のグループホームはありますが、スタッフの交流までは行われていない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御家族からサービス利用について相談を受けた場合、必ず御本人と面談させていただき、ご本人を理解しようと努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までのご家族の苦労や困っていることなどをお聞きして、次の段階の相談につなげている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い、状況を確認し、必要なサービスにつなげるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に得意分野で力を発揮していただき、感謝するという関係性を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	なるべく家族には、お顔を出してもらえようとお声かけしている。ボランティアに来てくださるご家族もいらっしゃる		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知人・友人などが遊びにいらしたら、またいらして下さるように声かけをしている	友人や自宅の近所の方の訪問がある。ホーム近くの美容院に通う利用者も多く、新たな馴染みの関係に発展したり、家族付き添いで行きつけの理髪店で整髪していただいている方もいる。ボランティアによる手芸教室で12月には家族宛に「年賀状」を作り、送ることができた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶や食事の時間は、職員も一緒に多くの会話を持つようにしたり、トラブルになった時は、個別に話を聞いて、スタッフが調整役となっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所なさった利用者の所に職員が訪問したり、御家族がいらしたりする。今年も御年賀が送られてきた		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々、機会があるごとに利用者との面談、生活に対するニーズを把握し、プランに生かしている	利用者全員が自分の意思を伝えることができる。書物を読むことが好きな利用者に図書館より関係書物を借りてくるなど、過去の職業や趣味を理解し意向に沿えるよう働きかけをしている。希望により、お正月には泊まりで帰宅する方や日帰りで帰宅する方もいた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴については、本人、家族から聞くとともに会話の中からも把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の介護記録、バイタルチェック表などから利用者の状況の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族を主体にスタッフの意見などから生活に対する意向を聞きプランを作成している	入居時に利用者や家族の要望・意見を聞き入れ作成している。職員が数人の利用者を担当しており計画作成担当者に現状等を報告し定期的な見直しを行っている。家族よりの要望や利用者に変化があればその都度見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、食事・水分量・排泄など身体的状況、日々のエピソードなどを記録している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況に応じて、緊急な受診、買い物など必要な支援は柔軟に対応している		

グループホームきんもくせい

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	図書館の利用や地区の敬老会、ミニデイサービスに参加、地域住民と交流し、心身の活性化を図っている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の今までかかりつけ医へ受診している。必要に応じて、御家族に同行して普段の様子を伝えるようにしている	利用する前のかかりつけ医の継続を基本としている。受診は家族にお願いしているが、職員が家族と共に付き添い、医師へ情報の伝達をしている。独居からの利用者は職員が付き添いを行っている。利用者の状態により医師と相談し、薬の服用を改め良い結果につながったこともある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調や些細な変化を見逃さないよう早期発見に取り組んでいる。気づいたことがあれば、ただちに看護師に報告し、指示を受けている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報を医療機関に提供し、退院時には、早期に出来るよう支援している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今後の検討課題である 御家族には、現段階で出来ることを話している	今後に向けて勉強会等の研修をしていきたいとの意向がある。今年に入りホームにてクモ膜下出血となり救急車により緊急搬送された後病院で亡くなった利用者がいた。他の利用者には亡くなったことを混乱の起きない程度にお知らせし、悲しみを分かち合った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網は整備されている。 全ての職員が訓練を受けてをいるわけではないが、講習会も計画している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は毎月ホーム内で実施 地区消防団との連携も出来ている	定期的な消防訓練が行われている。消防車が来て指示を仰ぎ訓練が行われた。地域住民と合同で5月に消火栓の訓練も行っている。ホーム独自の地震等の災害訓練を毎月実施し、利用者の方に防災頭巾をかぶって頂きテーブルの下にもぐり、安全の確認をしてから外へ出る訓練をしている。AEDも設置されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	対応している	名前や苗字にさん付けで利用者と呼んでいるが男性の利用者には場面や希望に沿って「じいちゃん」と呼ぶこともある。利用者間でも違和感なく「じいちゃん」と呼び、家庭的な雰囲気であった。職員は利用者に対し丁寧な言葉かけをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの様子や状態を観察し、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共同生活が乱れない範囲で、利用者のお話に耳を傾け支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択は、なるべく各々にお任せしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その人にできる仕事をお願いして、役に立つことの喜びを感じて頂き、利用者とスタッフが一緒に楽しく食事している	利用者と職員が同じテーブルで食事をしている。一部介助の方や食材を小さく食べやすいようにする等、個々に対応をしている。誕生会や焼き芋大会等で変化をつけている。後片付けを率先してやる方や食事後にモップ掛けをやる方等、職員も感謝の言葉をかけ手伝っていただいている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとり食事量・水分量をチェックし、その日の状態や習慣に応じた支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけし、その人の力に応じて支援している		

グループホームきんもくせい

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、声かけをしている	自立の方、リハビリパンツ使用の方と様々だが、職員の声掛けや見守りでやっている。業務日誌を見ると排便など失敗する利用者を見かけた時に職員が気長に対応している様子が窺えた。また、入り口が2ヶ所あるトイレがあり、他の利用者の目に触れることなく浴室に移動出来、後始末することも出来る。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のラジオ体操と水分補給の徹底、食事後には野菜や果物を十分とるよう声かけしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴のスケジュールはあるが、入浴中入浴後も笑顔で喜んで頂けるよう、会話にも配慮している	午前1回と午後2回、計3回入浴の時間が取られている。1人ずつ1回1回新しいお湯に替え入浴していただいている。職員の見守りで自分で出来ることはやっていただき、ゆっくりした時間を楽しんでいただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	規則正しい生活を心掛け、生活のリズムを整えるよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ全員が薬の内容や副作用までは理解できないが、誤薬がないよう注意し、服薬時は飲み込むまで確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーション(歌・トランプ・かるた・しりとりなど)や食事の手伝いなどをしていただいている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	早朝散歩(冬期は除く)、お散歩、ドライブなど行っている。地域の行事なども参加を心がけている	健康維持のため毎日の散歩は日課となっている。毎月一回ドライブを計画し、その都度花見であったり紅葉狩りであったりと利用者と職員で決めている。利用者の健康状態を見ながら塩尻市のシンボルでもある鉢伏山にちなんだ地区の高齢者のサロン・「鉢伏会」に参加している。	

グループホームきんもくせい

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金はご家族から預かり、必要なものが買えるよう支援しているが、御本人が使えるようには支援できていない		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望に応じて日常的に電話はしていただいている。毎年年賀状はご家族宛に書いていただいている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに花を置いたり、壁には季節ごとの飾りつけをしている。温度や湿度にも配慮している	床暖房とエアコンで温度調節されている。リビングの南に面し広いテラスが造られていて、暖かくなるとお茶や日向ぼっこに活用される。リビングの壁には利用者それぞれの年初の希望が貼られていた。太陽の光と床暖の温かさでほんわかと気持ちよい室内環境が整えられている。利用者によっては居室でなく、リビングの一角で昼寝をする方もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで本を読んだり、談話室でテレビを見たり、穏やかに仲良く過ごせるように雰囲気作りをしている。夏期はテラスが活用されている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具・寝具は御家族が用意して下さり、写真や思い出のものなど持ち込まれている	ベッド、タンス、写真等が自宅より持ち込まれていた。誕生会の写真や家族の写真が壁に飾られ、お気に入りの洋服も壁に掛っていた。ホームでの手芸教室の作品も居室に飾られており、その作品からも利用者の一人ひとりの個性が感じられ穏やかに暮していることが窺えた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の表札は、本人が書いたものをつけ、トイレは大きな字で表示している		